

「丸亀製麺」は釜揚げうどんで飢餓の解消を支援します ～食を提供する企業として、食に関する社会問題の解決サポートを開始～

株式会社トリドール(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:栗田 貴也、以下当社)は、当社の主力業態である讃岐うどん専門店「丸亀製麺」で 2013 年 4 月 15 日より、飢餓の解消を支援する取り組みを開始します。

今回の取り組みでは、国内の全店舗で毎日、小麦と水と塩だけを使用して作る「丸亀製麺」を代表する商品である釜揚げうどん 1 杯ごとに1円を、開発途上国の学校給食として寄付します。寄付金は NPO 法人 TABLE FOR TWO International(東京都港区、代表・小暮 真久)を通じてアフリカの子どもたちに学校給食(1 食あたり 20 円)として提供。学校給食は、飢餓に苦しむ子どもたちの空腹を満たすだけでなく、小学校への就学率と学業成績の向上にもつながり、飢餓や貧困から抜けだすための良い循環をうみだします。子どもたちの基礎体力を向上させることで病気予防に貢献したり、学校と親とのコミュニティ形成にもつながっています。

今後もトリドールでは、世界で手づくり・できたての美味しい食事を提供する企業として、世界の食に関する社会問題の解決をサポートしていきます。

【NPO 法人 TABLE FOR TWO International について】

2007 年 10 月に設立した TABLE FOR TWO は、先進国の生活習慣病などの問題と、開発途上国の飢餓問題の同時解決を目指す日本発の社会貢献運動を実施しています。先進国の私達と開発途上国の子ども達が食事を分かち合うというコンセプトの下、社員食堂や店舗で TFT ヘルシーメニューを購入すると、代金の一部が寄付となり、アフリカの子どもに給食をプレゼントできる仕組みを作りました。日本で始まった活動は海を越え、アメリカ、イギリス、韓国、香港、台湾、スイス、ノルウェーなど 11 か国に広まっています。今後もさらに活動地域を拡大する予定です。